

神奈川県立伊勢原高等学校 グランドデザイン

スクール・ミッション

- 生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、すべての生徒が共に学び、相互理解を深める教育を推進する中で、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 深い知性と豊かな教養、高潔な志操をもつ心身ともに健全な人材の育成をめざし、社会性、公共心、表現力豊かなコミュニケーション能力等これからの社会に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。
- 自ら課題を発見し解決する力、主体的に学びに向かう力を育むことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を実施することや、違いを個性と特性として理解し、思いやり、優しさを育む取組を推進する等、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

- 多様な情報を利用して自己の価値観を形成し、表現力豊かなコミュニケーション能力を持つ「自立した大人」の育成をめざす。
- 深い知性と豊かな教養を身につけ、新たなものを生み出す発想力を鍛え、自ら課題を発見し解決する力を持つ社会に貢献できる人材を育成する。
- 多様性を個性・特性として理解し、社会性、公共性、優しさを身につけた共生社会に貢献する人材を育成する。

グラデュエーション・ポリシー

～「自立・友愛」の校訓のもと、このような力を身に付けます～

- 主体的に学び行動して、自己の将来を積極的に開発していく力。
- 他者と協力するために表現を工夫してコミュニケーションを深め、多様性を理解しながら課題を解決していく力。
- 社会性、公共心を重んじて連帯し、相互理解と思いやりを基盤とした地域社会に貢献する力。

カリキュラム・ポリシー

- 1学年では基礎的な知識・技能を習得するために、共通教科の必修科目を中心としたカリキュラムとし、2・3学年では生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるために選択科目を設置したカリキュラムとしています。
- 高度情報化社会に対応したICT利活用を進めながら、各教科・科目において、生徒同士で課題の解決を図る探究的な活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力を育み、他者と協働しながら課題を解決する力を身に付けます。
- 体育祭や文化祭などの学校行事、地域資源を生かした探究活動、部活動などの特別活動を通して、望ましい人間関係の形成や豊かな心と体を育むとともに、社会性や協調性を育みます。

アドミッション・ポリシー

- 自ら学び、考え、表現し、行動することで進路の実現を目指し、努力を続ける意欲のある生徒
- 他者の個性を理解・尊重し、協力しながら課題の解決や目標の達成に向けて取り組む意欲のある生徒
- 学校行事、生徒会活動、部活動、地域活動において、社会に貢献する意欲のある生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目標	①教育課程が、生徒の実態とニーズに合っており、進路希望の実現に即しているか検証する。 ②ICTを有効活用できるようにするとともに組織的な授業改善を行い、生徒の深い学びにつなげる。	①学校行事や生徒会活動において、生徒一人ひとりが目標や役割を意識しながら参加することができるよう支援する。また、生徒同士が自己や他者を認め、協力しながら目標を達成していく力を育成する。 ②すべての生徒が相談しやすい環境を整え、教員向け各種研修会を行うことで、生徒自身が自身の問題に向き合い、解決するために行動できる力を育成する。	①受験科目の変更を調査するとともに、大学などと連携をし迅速に基礎学力テストや総合型選抜に必要な能力などの情報をとり入れ、外部機関からも情報を収集する。また、企業研究・地元探求などを通して、社会情勢を学ぶ機会を設定する。 ②キャリア教育計画を視覚的に明確なものとし、共有し職業観を全学年で身につけ進路選択を具体的に考えられるようにする。	①清掃活動以外にも、地域と交流する機会を作り、地域との信頼関係を築くとともに社会性を養う。 ②学校外への情報発信（広報活動）を丁寧に行い、多くの方に教育活動への理解をいただく。	①ICTを活用したり、教員間の協働により業務のスマート化を進め教員の心身の健康確保に繋げることを目指しながら、職場全体の健康と事故・不祥事の未然防止に努める。 ②災害発生時にスムーズな対応や行動がとれるように地域と連携して、広域避難所としての防災意識を高める。
主な方策	①アンケートの実施により教育課程が生徒の実態とニーズに合っているかを検証し、見直しの必要性があるかを確認する。 ②教員および生徒向けICT研修会の実施と各授業におけるさまざまなICTの活用を体験し、ICT有効活用のスキルを身に付ける。	①生徒が主体となって行事運営ができるよう、目標を明確にし、委員会活動を充実させる。生徒間での話し合いが積極的になされるようLHRを設定し、サポートを行う。 ②多様な研修会（生徒向け教員向け）を実施し、それぞれが課題に対応する力を育む機会を設ける。 ③面談期間を有効活用し、生徒の課題等の早期発見情報共有を行う。必要に応じて、SC、SSW等と連携する。	①総合的な探究の時間での取り組み、外部機関の提供情報などを精査し、教職員で共有するとともに生徒に必要な情報を周知・提供する。 ②キャリア教育計画を表や図で表し、総合的な探究の時間に職業の理解を促し周知する。	①生徒会・委員会・部活動に所属する生徒等と地域との交流について考える場を作り、清掃活動以外の交流を行う。 ②広報活動の充実とともにホームページの更新頻度をあげ、最新の情報提供を行う。学校運営協議会をはじめ多くの方々からのご助言やアドバイスを活かし、よりよい教育活動を行う。	①管理職と協力し、ICTの活用などを通して、事故防止に係る重要事項を共有する。また、お互いの声掛けや職場のペーパーレス化など、業務の効率を上げ、健康的な職場環境を目指し、事故不祥事防止の徹底に努める。 ②地域との避難訓練運営会議などの内容を、ICTを活用し、教員間で共有を徹底する。地域の防災課題を踏まえ、万が一の有事の際に一人ひとりが行うべきことを自覚する。

校訓・沿革・伝統

- 昭和3年5月21日 私立伊勢原実科女学校として伊勢原町伊勢原大福寺において開校する
- 昭和23年4月1日 学制改革により神奈川県立伊勢原高等学校と改称
- 平成29年4月 在県外国人等特別募集 第1期生入学
- 平成30年11月22日 創立90周年記念式典挙行する
- 令和2年4月インクルーシブ教育実践推進校特別募集 第1期生入学
- 校訓「自立」「友愛」

特色のある学校行事等

- 「ICT利活用授業研究推進校」として、ICTの導入を推進します。
- 「インクルーシブ教育実践推進校」及び「在県外国人等特別募集実施校」として、「D&Iコンセプト※」のもと、共生教育を実現し、共生社会の担い手を育成します。※ D: Diversity (多様性)、I: Inclusion (包括性)
- 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、自分の考えをしっかりと持ち、発信することのできる力「生きる力」を育成します。
- 体育祭と文化祭を合わせて「明鏡祭」と呼び、全日制・定時制が協力して実施しています。